



朽木中学校だより

第8号 令和7年11月27日発行 文責 前田 代志美

朽の木とともに
大地に根を張り
幹を太らせ
たくましく伸びる

ブロック駅伝大会を終えて

11月6日(木)に第1ブロック駅伝競走大会が今津総合運動公園で実施され、ご家庭の方々の応援に後押しされて、参加者全員が自己ベストを目指して力走しました。

生徒は、当日まで駅伝部としての自覚と学校代表としての責任を受け止め、「タスキ」をつなぐために、日々練習に励み、休日にグラウンドで練習をする姿、帰宅後の自主練習でタイムを確認する姿を何回も見かけました。練習が辛かったことやしんどくてききそうになったことも、駅伝部として心を一つに乗り越えてきました。

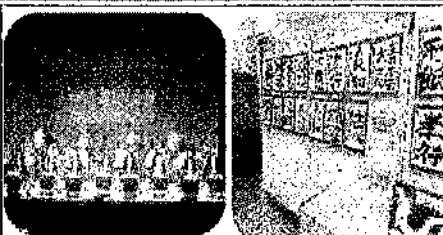
結果は、惜しくも4位以内に入賞できませんでしたが生徒が顧問とともに歩んできた道のりは、とても貴重なものです。これを糧として来年度への挑戦につなげてほしいと願います。一番近くて応援できて心でも感動しました。学校、家庭、地域で生徒を心身面でお支え下さり、心よりお礼申し上げます。



人とふれあい、支えあうなかで ～多くの体験活動、学習活動からの学びは～



1年生の森林体験学習では、多くのスタッフの方にお世話になって、昨年度移植した苗木の成長を確認して、除草作業等を行いました。



朽木文化祭では、朽木太鼓を披露し、学習活動の作品を展示しました。保護者やすみまち協議会の方に太鼓の運搬を手伝ってもらいました。



2年生の「いのちの学習」は多様な性から家族のかたちについて考え、キャリア学習では、講師の方の人生から「生き方」について学びました。



3年生は、保健体育の柔道に積極的に取り組んでいます。また、親子進路学習会では、高等学校の特色や入試制度について学びました。



地域のスタッフの方とともに春の花の苗をポットに移植しました。2年生の調理実習では、卒業した先輩から秋刀魚のさばき方を学びました。



環境委員会の活動として、毎月第2水曜日の朝に、全校清掃をしています。全校ソフトボール大会は、晴天の下、盛大に行われました。

心の窓

今自分は、何がしたいの？
将来どうすればいいの？

自分の一言でとても悲しい
思いをさせてしまった。

こうしなくては・・・と思うんだ
けど、できない。
もやもやする。

一生懸命やっているのに、成果が出ない。
勉強が分からない。

友達と仲良くしたいけれど
どうするといいの？声をかける
勇気が出ない。

家族になかなか話せない。
ゆっくり聞いてほしい。
先生聞いてよ。

生徒は、毎日決まった時間の流れの中で、個性を発揮しながら学習活動に取り組んでいます。嬉しかったこと、推しの話、発見や驚き、また多くの悩みを抱えています。

学校、家庭、地域がどんな指導や声掛け、支援ができるのでしょうか。「私たちはこうだった。」と語っても、なかなか受け入れることができない生徒もいます。まずできることは何かを日々考えています。

- ① 思いを傾聴する。(こちらから言葉を挟まない、要約しない、じっくりと時間をかける)
- ② 聞いたことを整理する。(●●ということが言いたいよね、●●と感じたんだね)
- ③ 多様な見方を紹介し、法に触れることなど間違った判断があれば正す。(こんな風に受けとめることもできるよ、自分を大切にしていこう)
- ④ 何か手伝えることがあるかを確認する。(あなたはどうしたいのかな、何をゴールにするのかな、力を貸そうか)
- ⑤ いつでも相談してもよいことを伝える。(また一緒に話そうね、嬉しかったことも聞かせてね、いつも見守っているよ)

生徒が、予測不可能な時代に、ありのままの自分を受け入れながら、心と体を大切に焦らず生きていくための資質や能力を少しずつ育むことに力を注ぎたいと思います。

12月の行事予定

一二月の予定

一日(月) 三年保育実習

午前SC来校

三日(水) 一年ひびきあい活動

学習参観 PTA合同研修会

四日(木) 一〇日(水) まで

人権週間

八日(月) 校友会専門委員会

九日(火) 三・四校時

朽木トークフォーダンス

一〇日(水) 全校清掃 人権集会

一日(木) 校友会役員選挙

現執行部の主体的な姿を引き継ぎ、新役員の魅力ある活動を期待しています。

一五日(月) 二・三年

郷土料理の調理実習

午後SC来校 消費者教育講座

一九日(金)・二二日(月)

期末三者懇談会

二二日(月) 給食終了

二三日(火) 二学期終業式 大掃除

二四日(水) 一・二年スキー教室

一月の主な予定(二〇二六年)

七日(水) 三学期始業式

八日(木) 給食開始

一六日(金) 百人一首大会

二三日(金) 一・二年スキー教室

ティータイム ☕ 校内研究会では、本校の授業改善策や生徒の主体的・対話的な学びを推進する方策を協議しています。全国学力・学習状況調査の結果も踏まえながら、中間報告として以下の力点を挙げています。

- ① 「めあて」と「振り返り」の深化(学習活動のねらいを明確にする、言葉や文章での表現力を豊かにする)
- ② タブレットを効果的に活用しながら、個別・協働的な学びの充実(自ら学び、論理的思考力を高める)
- ③ 生徒が、わくわくしながら課題を解決して、「わかった」と感じることができる学習活動を取り入れる。